

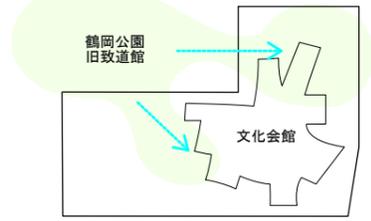


外観イメージ

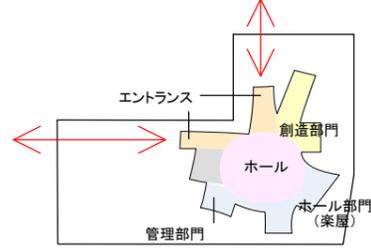


敷地図 1:1500

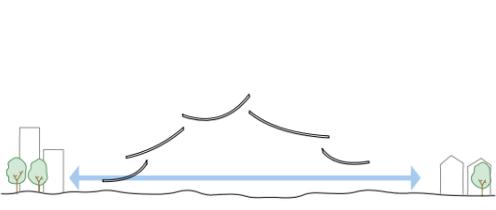
□ 緑の街並みを敷地内に連続させ、周辺と連続した景観を計画します。



□ 2つのエントランスを設け、街を回遊する動線を計画します。

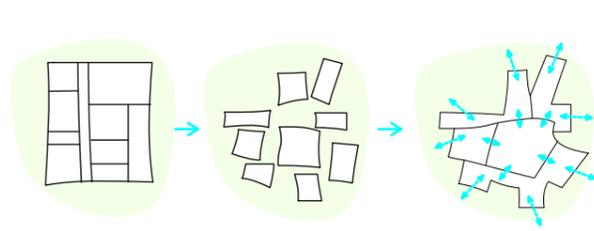


□ ユニバーサルデザインの市民ホール

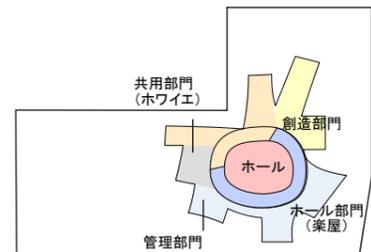


一階に全てのプログラムを配置し、だれでも利用しやすい施設を計画します。

□ 各プログラムが外部と関係を持ち、街にひろがりをもつ文化会館を計画します。

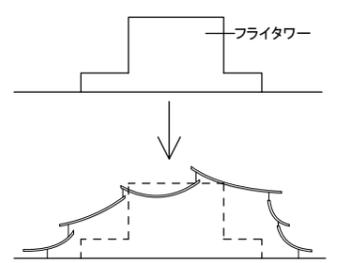


□ フレキシブルな動線を持つ回廊

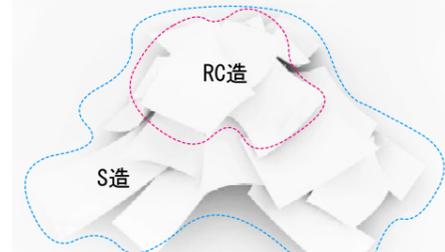


ホール利用時は、各動線は分けられる

□ 屋根を分節し、周辺と連続した風景となる施設を計画します。

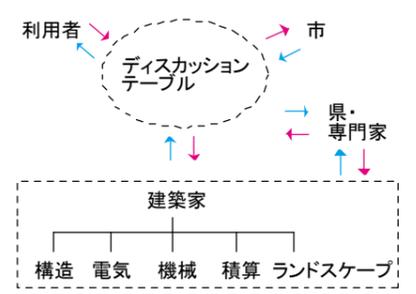


□ 構造計画について



ホール部分に強固なRC造を配置し、周囲を軽い鉄骨造とすることにより、軽やかに入り込みやすい施設を計画します。

□ 建築家が窓口となり市、利用者等の意見を取りまとめ、柔軟に対応できる業務執行体制





■ 再生可能エネルギー利用

空調熱源には豊富な伏流水を有する地盤の特性を生かし、採熱杭でヒートポンプターに熱をくみ上げ年間を通して高効率な運転を実現する。これにガス吸収式冷水機を組み合わせ、負荷変動に柔軟な熱源を構築する

創造交流エリアの屋根の水平力はホール部に流し、外周は軽やかな構造とする

■ メンテナンス性の確保
駐車場に接するゾーンに機械室・電気室・発電機室を配して、容易な保守・管理を実現する。水位を考慮して最小限の地下計画とする

■ 快適で省エネルギーな空調方式の採用
床下チャンパーを用いた床吹出空調により、快適性と省エネルギー性を確立した居住域空調を導入する。

■ 地下水の利用の検討
天井高のあるエントランスなどで地下水を利用した放射冷房の採用を検討する。

■ 自然換気の採用
エントランス・回廊などは開口部の制御を行い中間期に温度差換気がはかれるように算出する。

■ 回廊空間
回廊による緩衝空間で舞台おろしを防ぐ

■ 屋根外周部は畜雪して滑落させない

■ プログラムに合わせた個別空調対応
楽屋などは室の利用に合わせて運転できるヒートポンプ式個別空調を採用します。

■ 音楽、演劇など多目的用途に対応できるフレキシブルなホール

オーケストラピットや舞台奈落、音響反射板などの機構・設備を設け、様々な活動に適應する劇場を計画します。

構造計画

本計画の構造は、建物中央にバランス良く配された壁式構造のホール部門に、外周の創造交流部門が寄りそう建築計画と調和した形式です。中央に配されたホール部分とそれを覆う屋根をRC造の剛強な一体構造とすることで、地震力に対して合理的かつ安全性の高い計画とします。RC造は音の遮蔽効果に優れ、また屋内環境を安定させる蓄熱体としても複合的に機能します。創造交流部門の軽やかな屋根はホールと一体化させることで水平力を処理し、外周部分には鉛直間柱が散在するオープンな空間が実現します。内川に隣接し水位の高い敷地での施工性・経済性を考慮して地下を最小限とする計画としています。オーケストラピットや一部機械室など地下化が避けられない部分の防水は重点的に計画します。屋根形状は外周部の最外端に向けてフラットになり、地上への雪の滑落を防ぎ、屋根の上に畜雪することで、歩行者への安全、動線の確保を図ります。市と協議し、所要の安全性を確保することを前提に、耐震・制振・免震などの比較を行い、目的と予算に合致した構造形式を実現します。

